

# 食品スーパーにおける食品ロス削減効果の検証 (京都市)

京都市では、平成29年度に食品スーパーの協力を得て、食品ロス削減効果の検証のための調査・社会実験を実施。

## 加工食品の販売期限の延長による食品ロス削減効果の検証

- 一部の加工食品の販売期限をおおむね賞味期限・消費期限の日まで延長し、廃棄数量の変化を調査。
- 前年同時期と比べ、対象品目全体(15品目)の廃棄数量が減少し、**約10%の廃棄抑制効果を確認**。

### 実験概要

- ・店舗：食品スーパー(5店舗)
- ・品目：日配品15品目  
(豆腐、ヨーグルト、洋菓子など)
- ・期間：平成29年11月1日  
～12月3日
- ・比較：前年同時期との  
廃棄数量等の比較



### 市民意識調査結果

京都市民を対象に販売期限延長に関する消費者の意識を把握するためのアンケート調査を実施

- 「販売期限の延長により食品ロス削減に取り組むことは良いこと」との**賛成意見が9割以上**。
- 取組を進めていくに当たっては、「**適切な値引き**」、「**行政や事業者からの積極的な情報発信**」などが必要との意見が多数。

## 賞味期限・消費期限が迫った見切り商品の購入を促す啓発による食品ロス削減効果の検証

- 「値引き商品を買って頂くと、食品ロスが減るんです。」や「すぐ食べるならお得な商品でもう一品!」と書かれた**啓発資材**で、**見切り商品の購入を促進**。
- 前年同時期と比べ、**青果、惣菜、パン**の3部門とも廃棄率、廃棄個数が改善し、**3部門合計での来店者1,000人当たりの廃棄個数は約6割減少**。  
〈啓発ポスター〉

〈買物かごステッカー〉



「賞味期限は期限切れ直前でも十分に食べられる。捨ててしまうにはもったいない、という思いに共感している。」という声もあがっている。